



さいさいきて屋 (今治市)



直売所

平成19年4月25日、今治市に国内最大級の大型直売所「さいさいきて屋」がオープンしました。この「さいさいきて屋」は、JAおちいまばりが「新鮮で安心・安全な農畜産物の豊富な品揃え」を実現し、消費者と生産者の「顔が見え、話ができる」関係づくりをめざして開設したものです。大型直売所の他にも農産物を加工販売しているカフェや地産地消の食堂、体験型市民農園や新技術・新品種実証農園など多様なニーズに応じた施設として、また地域農業振興の拠点として期待されています。

また「さいさいきて屋」では、学童農園にて愛媛県・今治市との連携により、毎月1回、小学生を対象にした「saisaiKIDS 倶楽部(さいさいキッズくらぶ)」を開催し、田植えやサツマイモ植え、田んぼや水路の生き物調査など、子どもたちへの農業体験や食育の推進も行っています。

生き物調査



●営業時間

直売所／AM9:00～PM7:00
saisai cafe／AM9:00～PM7:00
彩菜食堂／AM11:00～PM9:00
※オーダーストップPM8:30

●問い合わせ

さいさいきて屋
愛媛県今治市中寺279-1
TEL 0898-33-3131



「新・地域を生きる —地理学者の地域づくり論」

宮口侗迪著 原書房 2,400円(税別)

著者の『地域を活かす—過疎から多自然居住へ』を引き継ぐ本書は、地理学者の視点で全国各地を歩いた結論に基づき、これからの地域づくりの可能性を論及されている。地域の活性化や地域づくりには何が必要かを、全国各地のケースを取り上げて究明している。

各章にコラムとして、全国町村会の町村週報の「閑話休題」欄に著者が執筆したものを活用していて、その中には“愛媛の光”として(財)えひめ地域政策研究センターやえひめ地域づくり研究会が紹介されているのも必見。



愛媛ふるさと暮らし応援センター開設

平成19年9月10日(月)、えひめ地域政策研究センター内に「愛媛ふるさと暮らし応援センター」を開設しました。当センターでは、各市町の移住者・交流者誘致に向けた取組に対する個別指導やアドバイスのほか、移住・交流希望先の紹介・斡旋や取次ぎ、移住にあたり必要とする情報の収集・提供など、個別・具体的な要望に対し柔軟な対応を行います。

平成19年度は、住居や就労、生活関連情報や相談窓口の案内、移住経験者の体験談などを一元的に提供する「えひめ移住支援ポータルサイト『e移住ネット』」を開設し、移住希望者が必要とする各種情報を効果的に発信するほか、移住者誘致リーフレットの作成や「移住サポーター・ネットワーク会議」の組織化・運営などを予定しています。

このほかにも、東京都・大阪府において四国4県で共同開催する移住促進フェアや、移住交流に関心を持つ人々を対象とした「お

試し暮らし」(モニターステイ)事業の実施などに取り組んでいきますので、今後の愛媛ふるさと暮らし応援センターにご期待下さい。



えひめ移住案内人の二人

※移住・交流に関する様々な情報をお持ちの方は、下記まで情報をお寄せ下さい。

愛媛ふるさと暮らし応援センター

電話 089-932-7841

FAX 089-932-7760

URL <http://www.e-iju.net>

Book information

「宮本常一写真図録 第1集」 瀬戸内海の島と町 広島・周防・松山付近

編者：周防大島文化交流センター みずのわ出版 1,800円(税別)

今年は、民俗学者宮本常一の生誕百年にあたる。その生誕の地にある周防大島文化交流センターは、保管する宮本常一の写真を広く公開する目的で、年2回ほど写真による企画展示を実施している。2006年11月には写真パネルを展示した。パネルは、「私の日本地図4 瀬戸内海Ⅰ 広島湾付近」(同友館、1968年)に使用された写真を中心に再構成し、本図録は、それを元に再編したものである。

5編から構成され、愛媛県関係は、昭和30～40年代の松山市内と忽那の島々が約20ページにわたり紹介されている。秋の夜長、島々の多様な姿・暮らしに触れ島々の未来に思いを巡らせてみてはいかが。

